

自由民主党  
京都市会  
議員団ニュース



平成24年(2012)1月8日発行  
 ■発行人/津田大三 ■編集長/山本恵一・田中明秀  
 〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091  
 http://jimin-kyoto.jp/

No.36

# 市会改革推進委 議論進む

## さらに3項目決定

審査内容の事前告知  
モニター室閲覧部数の増加  
議会の新たな情報発信

市会改革推進委員会では、市会改革の取り組みについて開かれた場で、議員同士が協議、調整し、合意を得たものを決定事項として議長に報告した後、市会運営委員会において詳細を決定していただくこととしております。前回の議員団ニュースで決定事項(少数会派も代表質問、本会議傍聴者に質問要旨の配布)をお伝えしましたが、今回は、それ以降に議論し、決定した項目についてお知らせします。

【委員会の審査内容の事前告知】 委員会の審査内容について、市会ホームページで委員会の開会3日前(土・日・祝日を除く)の時点でお知らせし、モニター視聴希望者の増加につなげる取り組みです。

【モニター室の閲覧部数の増加】 これまで、3部を閲覧用としてモニター室内に配置していましたが、より閲覧しやすくするために、今後は5部を配置します。(ただし、議案書や議案説明資料等の資料は、部数に限りがあることから、これまでと同じく1部とします。)

【議会の新たな情報発信】

市バス・地下鉄の車内広告や市政広告板へのポスター掲出など、新たな手法を用いた情報発信について検討するものと見られます。



流山市公民館で開催された議会報告会(視察1班)

【議会報告会】 委員会で結論は前向きに取り組んでいく方向で進めるべきとなりました。詳細は市会運営委員会にて協議されます。



流山市公民館で開催された議会報告会(視察2班)

市会改革推進委員会では議論をより一層深めるために、11月13・14日、千葉県流山市と埼玉県所沢市へ他都市調査を行いました。

## 流山、所沢両市へ訪問調査

初日は流山市で、市民の皆様に対して議会説明を公民館で行っている様子を視察。その後には担当議員より現状を説明いただきました。各会派により考え方は違いますが、議員説明会ではその違いを出さないようにしている等、考えさせられる事項が多くありました。また、市民の皆様も基本的な事を聞きたい方から専門的な事を聞きたい方までおられ、幅広い対応が求められます。進行係や説明議員の力量が問われるようでした。

【京都の街に合った条例を】 二日目は所沢市にて説明を聴取しました。所沢市では議会基本条例を急いで作成する中で、他都市の条文をそのまま引用したため、自分の街に合わない部分が生じているとの事でありました。

自民党市会議員団は12月13日から15日まで九州の四自治体の実地視察に行っていました。訪問した自治体と項目は次のとおりです。

- ▽北九州市・カンボジアの浄水場設計受注・電動自転車の公用車化・「エコ修学旅行」の誘致。
- ▽大分県・学習支援新システム・在宅勤務制度・県庁ワークセンター。

## 自民議員団が4自治体へ実地調査 海外水ビジネス注目

▽熊本市・熊本駅周辺地域整備。  
 ▽熊本県・養護施設出身学生への生活費貸与制度・路線バスや路面電車等の子ども運賃の無料化。  
 特に北九州市は、全国で初めて公民が一体となって「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を発足させ、カンボジアの浄水場建設の基本設計を見直す事業を受注した「海外



カンボジアにおける水道事業技術の指導

水ビジネス」取り組んでおり参考になりました。京都市においても、友好都市提携を行っている中国西安市と「陝

西省水環境整備事業」に係る研修や独立行政法人国際協力機構(JICA)の「JICA草の根技術協力事業」としての水環境改善に向けた協力事業を実施してきております。

国内の人口減少に伴う給水収入が減る中で、発展途上国での水道運営、民間企業との共同で浄水場建設や配水管の敷設等、「海外水ビジネス」に多くの自治体が参入をめざし、活動を始めています。京都市においても市民にメリットを説明し、理解を得ながら海外展開を進めてもいいのではないかと考えます。

やはり我が自民議員団から提案しているように、京都の街に合った基本条例を考える事、またより一層実行性のある条例化に向けて実施可能な事項から改革を実行する必要を強く感じました。この視察を通して改革推進委員会、今後もしっかり議論してまいります。

# 商店街の活性化へ支援

## 区役所が先頭に

### 地域主体の取り組み

山本恵一議員 (北区)

山本恵一議員 (質問) 区役所における商店街活性化の取り組みについて、今後は区役所が商店街の振興といった経済部門において大きな役割を

果たしていくべきであると考えます。具体的な方策を含めてお伺い致します。

門川大作市長 (答弁) 今後、



地域包括ケアシステムの中核をになう地域包括支援センター(梶野)

こうした地域主体の取り組みを、区役所がしっかりと支援していくよう、来年度には区長の予算執行に係る権能を一層高めた、仮称「区民提

案・共汗型まちづくり支援事業予算」を創設することとしております。

この取り組みを活用し、区長を先頭に区役所が各区の独自性を活かしながら、安心安全のまちづくりや地域の魅力発信をはじめ、商店街の活性化等の経済部門を含めた区基本計画の実現に向けた幅広い取り組みを区民との共汗で推進して参ります。

### 重要性高まる地域包括支援センター

山本恵一議員 (質問) 「地域包括支援ケア」を進めていくうえで、地域包括支援センターはその中核を担う機関として、ますます重要性が高まってくるものと考えております。

より効果的で実効性の高い周知の工夫が必要ではないかと考えます。この包括支援センターの周知方法等について、具体的にお示し下さい。

下村あきら議員 (下京区)

下村あきら議員 (質問) 明け暮るかもしれない地震に

門川大作市長 (答弁) 地震から市民の皆様の生命と財産、そして京都の町を守るためには、木造住宅の耐震改修は、最優先に取り組まなければならない課題です。一層の耐震化制度を促進させるため、完全な耐震化に至らなくても、建物の傷んだ部分を健全な状態に戻すことや、

### 山本恵一議員の質問項目

1. 地域に見合った商店街の活性化に向けての区役所が果たす役割
2. 「地域包括ケアシステム」推進のための市民周知と介護保険料における所得の低い方への配慮
3. 急増する救急要請への対策及び安心救急ステーションの拡大
4. 公共事業発注における低価格入札等の見直し
5. 農業振興及び林業振興
6. 市立学校における規範意識を育む取り組みの充実
7. 上賀茂神社、御園橋周辺の道路状況の改善と御園橋の架け替え工事(要望)
8. 雲ヶ畑地域の京都バス路線廃止に伴う新たな交通手段の確保(要望)
9. 梶野地域の交通局西賀茂車庫以北の市バス路線の延長(要望)

すく分かりやすい「愛称」及び「シンボルマーク」を決定し、市民しんぶん挟み込み記事の全戸配布、市バス・地下鉄へのポスター掲示等を行うことにより、普及・定着を図って参ります。

について、今後いかに取り組んでいかれるのか、お聞かせ下さい。

門川大作市長 (答弁) 「地域包括支援センター」を高年齢者や高齢者を支える方々に広く知っていただくため、今年度中に公募により、親しみや

札価格制度の改革について、

### 公共事業の低価格入札制度の見直し

山本恵一議員 (質問) 低入札価格制度の改革について、

これまでの取り組みを更に一歩進め、基幹産業である地元建設業界を育成し、そこで働く労働者の生活を守り、さらには京都経済の活性化を図るため、市内業者への発注率を高めるとともに、ダンピング受注対策のための入札制度の改善に大胆に取り組むべきと考えますが、いかがですか。

も失格基準を新設し、いずれも基準を下回る低入札は自動的に失格と致します。低入札価格調査を経て受注した事業者に対する入札参加制限につきまして、単独事業者のみならず、共同企業体の構成員についても、適用することとします。公営企業を含めた京都市全体において、こうした入札制度の大幅な改正を早期に実施するとともに、引き続き市内業者への受注拡大の取り組みを進め、地元建設業界の経営基盤の強化と京都経済の活性化を図って参る所存であります。

# 住宅耐震改修は最優先

## 新年度から対応

### 市民の命を守る制度

門川大作市長 (答弁) 地震から市民の皆様の生命と財産、そして京都の町を守るためには、木造住宅の耐震改修は、最優先に取り組まなければならない課題です。一層の耐震化制度を促進させるため、完全な耐震化に至らなくても、建物の傷んだ部分を健全な状態に戻すことや、

地震に耐えられるよう壁を増やすことなどが有効です。そこで、新たな制度では腐っていたり、しるありの被害を受けている柱や土台を修繕する工事、屋根を軽くする工事、建物の四隅に耐震性を持った壁を設置する工事などに対して、助成金を交付します。

年内には制度を固め、来年度当初から実施したいと考えております。市民の命を守る耐震施策の積極的な展開とあわせて、大工や左官をはじめとしたまちの職人さんたちの仕事おこしや雇用の確保にも、しっかりとつなげて参ります。(3面へ続く)

### 下村あきら議員の質問項目

1. 木造住宅の耐震改修制度の抜本的な見直し
2. 帰宅困難者対策の抜本的な見直し
3. 道路災害危険箇所における対策工事の早期実施
4. 火災等罹災者の一時的な居住場所の確保
5. 力強い地域のコミュニティ推進のための区役所機能の見直し
6. 梅小路公園の魅力向上と周辺地域の活性化
7. 1日5万人増客に向けた魅力ある地下鉄事業の取り組み
8. 人と公共交通優先の「歩くまち・京都」のシンボルプロジェクト「四条通の整備」(要望)
9. 学校における防災教育の充実(要望)

わけて、大工や左官をはじめとしたまちの職人さんたちの仕事おこしや雇用の確保にも、しっかりとつなげて参ります。(3面へ続く)

(下村議員続き)

### 火災罹災者の一時 入居住宅の確保を

**下村あきら議員** (質問) 火災等の災害のために住宅を失った方が、速やかに住宅を確保できる制度の確立が急がれるのではないのでしょうか、市長のお考えをお聞かせください。

**由木文彦副市長** (答弁) 火災等の災害により住宅を失われた市民の皆様への住宅の確保については、公募によらず市営住宅に入居できる制度を設けておりますが、入居の時期や収入要件、立地の制約な

ど罹災者のニーズに答えきれれていません。一方、東日本大震災の被災者支援では、速やかな市営住宅の提供のほか、幅広い市民や不動産業界のご協力のもと、住宅の提供をすてまいりました。こうした成果を活かして、火災等の罹災者に対しても、住情報の提供窓口の設置や市営住宅についても、短期間、無償で利用できる制度を設けて参ります。

### 梅小路公園と周辺 地域一体の活性化

**下村あきら議員** (質問) 新たな観光エリアとして着目さ



周辺を含めて新たな観光エリアとして期待される梅小路公園(芝生広場)

上と周辺地域の活性化について、全庁体制で取り組む支援体制が必要ではないでしょうか。市長のお考えをお聞かせください。

**門川大作市長** (答弁) 梅小路周辺地域は、来春、水族館が開業する梅小路公園をはじめ、京

第一市場、商店街、大学、仏教総合博物館のほか、観光資源が数多く集積する、さらなる飛躍の可能性を秘めた地域であります。

今年度はまず、関係局による庁内ワーキング組織を立ち上げ、行政内部で積極的な議論を行い、来年度には地域の施設や団体、事業者、学識経験者、行政等が参画する、産・学・公・地域連携の検討会議を設置し、地域資源やポテンシャルについての研究やワークショップ等の開催を通じて、地域の活性化に向けた幅広い議論を行ってまいりる所存であります。

# 地下鉄烏丸線ホーム柵

## まずは3駅設置へ

### 乗客の安全性を確保

**棕田隆知議員** (南区)

**棕田隆知議員** (質問) 地下鉄烏丸線の転落防止可動式ホーム柵について、ラッシュ

時や祇園祭を始めとした各種の大きな行事、また観光シーズンにおいては、ホームに多くの乗客が溢れ、大変危険な

状況であります。万全な安心安全のため、是非とも一つでも多くの駅に、そしてできるだけ早く設置の実現を望みます。

**門川大作市長** (答弁) これまでその有効性は十分認識しながらも、負担が大きく具体化できる状況にはありませんでしたが、安全性と定時性を

### 棕田隆知議員の質問項目

1. 京都駅南口駅前広場整備
2. 地下鉄烏丸線の転落防止可動式ホーム柵
3. 消防団施設の耐震化改修
4. 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の条例の制定

確保する必要のため、駅数は極めて限定されますが、お客様が多く必要度の高い3駅に

れる「梅小路公園」の魅力向



ホームに柵の設置が望まれる地下鉄烏丸線烏丸御池駅

設置することと致しました。京都駅はホームが曲線で課題があるため、まずは直線で見通しが良い烏丸御池駅に設置し、出来るだけ速やかに京都駅、四条駅に設置してまいり

### 児童福祉施設の 設備・運営の条例

**棕田隆知議員** (質問) 児童福祉施設の設備及び運営に関

する基準の条例の制定につい

て、国基準を上回る職員配置基準をはじめとした京都市独自の保育制度を守り、現場を直視した条例でなければなりません、ご所見をお伺い致します。

**門川大作市長** (答弁) 条例の制定に当たっては、民間保育園と本市が協力して運営し、保育の質の向上に大きく貢献してきたプール制の基準を人員配置基準として参ります。

### 歩くまち・京都！ おもてなしの心を

**棕田隆知議員** (質問) 京都駅南口駅前広場整備について、季節や時間帯により渋滞に悩まされ、地域の方々の生活道路としての機能も低下しており、効率的な通行を確保する計画をして頂きたい。

また、国際文化観光都市京都市として、おもてなしの心を大切に、地べたに座って待つておられる修学旅行生の待合場所確保を提案します。勿論歩くことが困難な車椅子

### 消防団施設の耐震 改修への基準制定

**棕田隆知議員** (質問) 消防団施設の耐震化改修につい

て、ハードルとなる、学校敷地内もしくは隣接市有地を利用する場合の設置基準の見直しについて、また国の厳しい公園法等、法規改正を求めますが如何でしょうか。

**由木文彦副市長** (答弁) 地域のニーズを踏まえ制度改正の可能性も含め研究し、地元や消防分団からの御要望に基づき、できる限りお応えできよう柔軟な対応を心掛けてまいります。

地域のつながりを強化するとともに、地域住民の協力と支え合いの精神に基づく自主的で活発な地域活動が行われるように…(条例の基本理念)。「京都市地域コミュニティ活性化推進条例」は平成23年9月市会で可決、公布されました。今年4月1日施行をひかえて、自民党市会議員団一人ひとりはそのように語っています。

小林 正明 北区



東日本大震災、台風による紀伊半島の風水害。天変地異は、何を暗示しているのか。浄土真宗の祖、親鸞聖人の言葉「世の中、安穩なれ」が重く響く。

山本 恵一 北区



東日本大震災により地域コミュニティが重要であることを認識させられたことから、伝統的慣行と斬新な発想とにより、その活性化を一層推進したい。

中村 三之助 上京区



地域コミュニティの再構築には、「向こう三軒両隣を大切に」など「少し昔の価値観」の共有が肝要と考えます。頑張ります。

寺田 一博 上京区



地域で活動される皆様の意見を聞き、提言した内容が条例化されました。条例の内容がしっかりと実行される様に地域の皆様と共に頑張ります。

大西 均 左京区



東日本大震災を教訓にして、地域コミュニティを災害救助の視点から見直すべきです。家族に絆、地域に繋がりを意識して地域活動に参加しましょう。

桜井 泰広 左京区



住民自治の伝統を理解し、共同住宅居住者を含んだ地域コミュニティのご要望を、行政施策の中に反映させる活動に取り組んで参ります。

加藤 盛司 中京区



「向こう三軒両隣」「遠い親戚より近くの他人」まさしく地域のつながりが大切にされた時代。少し昔の価値観の復活が求められています。

津田 大三 中京区



祇園祭や時代祭は町衆が地域を元気にするために続けてきたものです。地域に根付く伝統や文化を大切に、地域活性化を進めます。

内海 貴夫 東山区



共同社会の活性化には、企業が対応しにくい生活者の需要を掘り起こして展開する介護・子育て・教育・町作り等の事業を行政が行うことが必要です。

富 きくお 山科区



永年・培われた自治の伝統を守り、人と地域の絆をさらに深める対策が必要。「地域力アップ」で「京都力アップ」を図ります。

吉井 あきら 山科区



より一層、家族・地域の絆を深めていくことこそが、地域コミュニティの更なる活性化につながります!!

# 地域コミュニティ更なる活性化

## 条例の可決、公布を受け—自民党市会議員団

下村 あきら 下京区



コミュニティの核は絆です。絆は、相互の理解度で強くも弱くもなります。人との絆、地域との絆を大切に作る風土づくりに頑張ります。

棕田 隆知 南区



区民体育祭を始め、市民の健康増進と絆を深める行事を支えて頂いているスポーツ推進委員において人員不足があり、その支援に努めます。

島本 京司 南区



生活実情や民間勤務実態によって地域活動に参加し難い現実の状況を、経済・景気の活性化による市民生活環境改善する必要があります。

井上 与一郎 右京区



地域の皆様が各々の地域に合ったコミュニティづくりに取り組むことにより、地域の「絆」が太くなり、安心安全な地域となるよう願っています。

田中 英之 右京区



世代を超えて地域のために協力し合う事が、地域力の向上に繋がります。地域を知り、人を知ることから自らのまちを強いのものにしていきましょう。

山元 あき 右京区



自分の住んでいる町にちょっと興味を持つ・・・全てはそこから始まります。いつもより5分早く出掛ければ見える景色が変わるかも。

田中 明秀 西京区



集合住宅の自治会加入率の向上に向けて、各種行事への参加の積極的な働きかけや話し合いの場を設ける様にしていくこと。

西村 義直 西京区



地域の絆が、これまで以上に強く望まれる時代に適したコミュニティの活性化推進を通じて住み良い京都市のまちづくりを目指します。

高橋 泰一朗 伏見区



あなたが主役です。地域主権の時代、実りあるふる里構築にあらゆる可能性を探求し誇りある歴史文化輝く、伏見の未来に汗を流しましょう。

繁 隆夫 伏見区



古き良き時代の隣組町内会を思い起こし、地域力向上の為、絆や出合いを大切に、子供からお年寄りまでが参加できるまちづくりを。

橋村 芳和 伏見区



伏見区は35学区28万人のマンション区。条例制定は絆をより強くする好機。人々がエネルギーギッシュに交流する「伏見合衆区」に!

中川 一雄 伏見区



様々な災害や、事故、犯罪などが、人の命を脅かしている。今こそ災害に強いまちづくり、地域コミュニティの更なる活性化が必要です。

〒604-8571 京都市中京区河原町御池  
自民党京都市会議員団  
jimin3@nifty.com FAX.257-3091

皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。